防災学習指導案(防災ノート小学生(低学年)版)

1. 本時の題材 「ひなんしょってどんなところ」(防災ノートP15、16)

2. 本時の目標

- ・絵や写真を見て、避難所とはどんなところかを知ることができる。
- ・避難所で守るべきルールやマナーについて考えることができる。

3. 準備物

防災ノート、指導者用防災ノート、実物投影機、テレビ、写真、絵など

4. 本時の指導

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導入	本時のめあてを確認する。 <本時のめあて>	 ・身を守る方法であるダンゴムシのポーズを確認する。 ・最近、地震や風水害等が各地で起こっていることにふれる。 ・避難した後のことについて考えさせ、避難所について知っているか聞く。 ・被災者が退避する場所である避難所について学習することを告げる。
	ひなんしょって	どんなところなんだろう。
展	1. イラストや写真を見 て、避難所の様子を知 る。(P15)	 ・避難所の写真を活用して、実際の避難所の様子を伝える。 ・大規模災害時には、被災した人たちがたくさんやってくることを想像させる。 ・避難所にいる人たちが、怒っていたり、泣いていたり、困っていたりといった表情についても指摘し、避難所の様子をイメージさせる。 ・小さい子やお年寄りなど、弱い立場にある人たちがいることに気づかせる。 ・避難所がどんなところなのかを知って、そこでの過ごし方やルールについて考えさせる。
開	2. 避難所でのルールやマ ナーを考える。(P16)	・避難所で気をつけなければならないことについて、気づいたことを発表させる。・児童の発言を掘り下げていく。・避難所では、ルールやマナーを守ることが大切であることに気づかせる。

展		・子どもでもできることとして、何か自分にできることを見つけて行動することを伝える。
		「道徳」の授業や「総合的な学習の時間」など、他教科と 関連づけて学習するとよい。
		・余裕があれば、避難所生活のために必要な物資について話し 合う時間をとってもよい。(P16)
開	(3. 避難訓練を行う。)	・避難訓練は、後日実施してもよい。
		本時の防災学習を活かし、現実感を持って避難訓練に参加できるよう工夫する。
. 7.	本時の学習を振り返る。	気づいたことや自分の思いを書かせる。感想を発表させる。
ま		・どんな時でも自分勝手にならず、相手のことを思いやることや、時には我慢することが大切であるということに気づくよ
と		う働きかける。
め		ワークシートを持ち帰らせ、家族と防災について話し合 う機会を設けると、防災意識のさらなる向上につながり、 効果的である。

5. 評価の視点

- ・避難所での過ごし方やルールについて考え、行動に移そうとする思いを持つことができたか。
- 自分にできることは何かを考えることができたか。